

埼玉県内の集合住宅団地に居住する通勤者の生活時間実態調査

正会員○折原 規道¹
同 三浦 昌生²
井上 幸洋³

生活時間 集合住宅団地 アンケート調査

1. はじめに

大都市近郊の都市には、大都市中心部への通勤・通学者が多い。住まいの立地によって、同じ大都市近郊の居住者であっても、その生活時間は異なっていると考えられる。

本研究では、大都市近郊に居住する通勤者の平日の生活時間を把握し、居住地による生活時間の違いを明らかにすることを目的として、県外への昼間の流出人口が多い埼玉県に着目し、県内に居住する通勤者を対象に一日の生活時間についてのアンケート調査を実施した。

2. アンケート調査

2.1 調査対象地区の選定

調査対象は一定規模の団地とし埼玉県内の都市基盤整備公団団地から選定した。これは、公団団地における入居基準により、調査対象の各世帯における生活環境の差が小さいと予測されるため立地による違いを明確にできること、また、公団団地が埼玉県内各地に分布しているということが理由である。調査対象団地を県内に分散させ、最寄り駅までの交通手段や所要時間に違いを持たせることを考慮に入れて選定した6団地の概要を表1に示す。図1には調査対象団地の分布を示す。

2.2 アンケート方法

アンケート票の内容は、通勤者の平日の起床時刻、自宅

表1 調査対象団地の概要

団地名	都市名	最寄り駅	最寄り駅までの所要時間
リブレ川口一番街	川口市	川口駅	徒歩 5分
所沢パークタウン駅前通り	所沢市	航空公園駅	徒歩 5分
吉川団地	吉川市	吉川駅	バス 10分
北坂戸団地	坂戸市	北坂戸駅	徒歩 5分
東鳩ヶ谷団地	鳩ヶ谷市	西川口駅	バス 30分
わし宮団地	鷲宮町	鷲宮駅	徒歩 10分



図1 調査対象団地の分布

から出る時刻、勤務先への到着時刻、勤務先を出る時刻、帰宅時刻及び就寝時刻等の時間に関する質問を中心に構成した。

アンケート調査対象は1団地につき200世帯、合計1200世帯とした。アンケート票は各世帯の郵便ポストに直接投函した。回収方法は、あらかじめ回答者に回収日時を告知し、後日訪問して直接回収した。回収時に不在だった世帯には返信用の封筒を用意し、これを用いて後日返送させた。

なお、リブレ川口一番街についてはオートロック方式であり直接回収が困難であったため、アンケート票にアンケート回収用返信封筒を同封し、郵送回収方式とした。

配布回収結果を表2に示す。6団地で合わせて341票(回収率28.4%)の回答が得られた。

表2 アンケート調査の配布・回収結果

団地名	配布数(票)	回収数(票)	回収率(%)	20代以下(人)	30代(人)	40代(人)	50代(人)	60代以上(人)
リブレ川口一番街	200	47	23.5	2	8	4	7	10
所沢P.T.駅前通り	200	41	20.5	2	3	9	15	6
吉川団地	200	51	25.5	11	12	6	18	2
北坂戸団地	200	77	38.5	5	17	10	26	5
東鳩ヶ谷団地	200	76	38.0	0	13	17	14	3
わし宮団地	200	49	24.5	8	3	8	14	7
合計	1200	341	28.4	28	56	54	94	33

2.3 アンケート集計結果

図2には各団地において平均化した通勤者の1日の生活時間を示す。通勤者の生活時間は大きく通勤時間、勤務時間、在宅時間、睡眠時間の4つに分けられ、これらの生活時間の違いは、全体的に朝方よりも夕方から夜間にかけて、すなわち、定時の勤務が終わった後から寝るまでの間に顕著に出ている。表3には起床時刻、自宅から出る時刻、夜の在宅時間、就寝時刻を数値で示す。

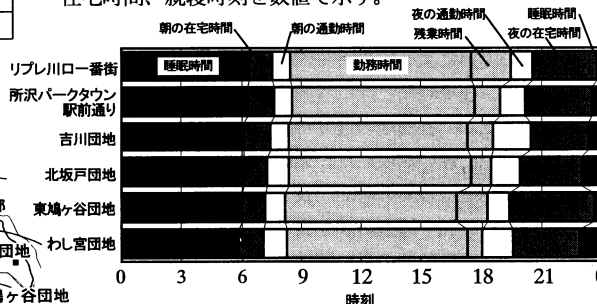


図2 対象団地における通勤者の1日の平均生活時間

A Survey on Actual States of Everyday Life of Commuters Living in Apartment Houses in Saitama

ORIHARA Norimichi, MIURA Masao and INOUE Yukihiko

(1)通勤時間

図3に各団地における朝の通勤時間別の通勤者数の割合を示す。通勤時間が75分以内の通勤者は、リブレ川口では9割であったのに対してわし宮団地では5割であった。各団地の通勤時間の平均でも、リブレ川口は最も短い50分、わし宮団地は最も長い68分で、その差は18分であった。埼玉県北部へ向かうほど団地全体の通勤時間が長くなる傾向がある。表3より、通勤時間が長い団地は、起床時刻、家を出る時刻も早い。

(2)勤務時間

図2より、定時勤務時間は若干の差は見られるものの、各団地に共通して概ね9時間である。表3より、残業時間はリブレ川口が1時間58分であったのに対し、わし宮団地では45分であり、1時間以上の差があった。

(3)在宅時間

図2より、朝の在宅時間は各団地に大きな相違はない。表3より、夜の在宅時間は最も長い東鳩ヶ谷団地は3時間50分、最も短いリブレ川口と吉川団地は3時間12分であり、その差は38分であった。

(4)睡眠時間

図4には各団地における睡眠時間別の通勤者数の分布を示す。各団地で6時間から8時間の睡眠が多い。吉川団地での睡眠時間が7時間18分と最も長く、東鳩ヶ谷団地では睡眠時間が6時間31分と最も短く、その差は47分であった。就寝時間はわし宮団地で最も早く22時34分、リブレ川口は最も遅く23時46分であり、その差は1時間12分であった。起床時間は最も早いわし宮団地で5時53分、最も遅いリブレ川口で6時23分であり、その差は30分であった。

3. まとめ

居住地の違いによって生活時間の流れも異なる。特に、在宅時間と通勤時間の関係は見られなかったが、各団地の通勤時間、残業時間、睡眠時間に違いが現れた。通勤時間が短い団地の通勤者は残業の時間が長くなり、必ずしも自由な時間や睡眠時間を長くとっていない。一方、通勤時間の長い団地の通勤者は残業を控えることで自分の時間や睡眠時間を作り出しているといえる。

表3 各団地の通勤者の平均生活時間

団地名	起床時刻	自宅を出る時刻	残業時間(時分)	夜の在宅時間(時分)	就寝時刻
リブレ川口ー番街	6:23	7:36	1'58	3'12	23:46
所沢パークタウン駅前通り	6:20	7:41	1'17	3'21	23:33
吉川団地	6:09	7:27	1'18	3'12	22:51
北坂戸団地	6:07	7:20	0'58	3'23	23:29
東鳩ヶ谷団地	6:03	7:15	1'27	3'50	23:38
わし宮団地	5:53	7:08	0'45	3'38	22:34

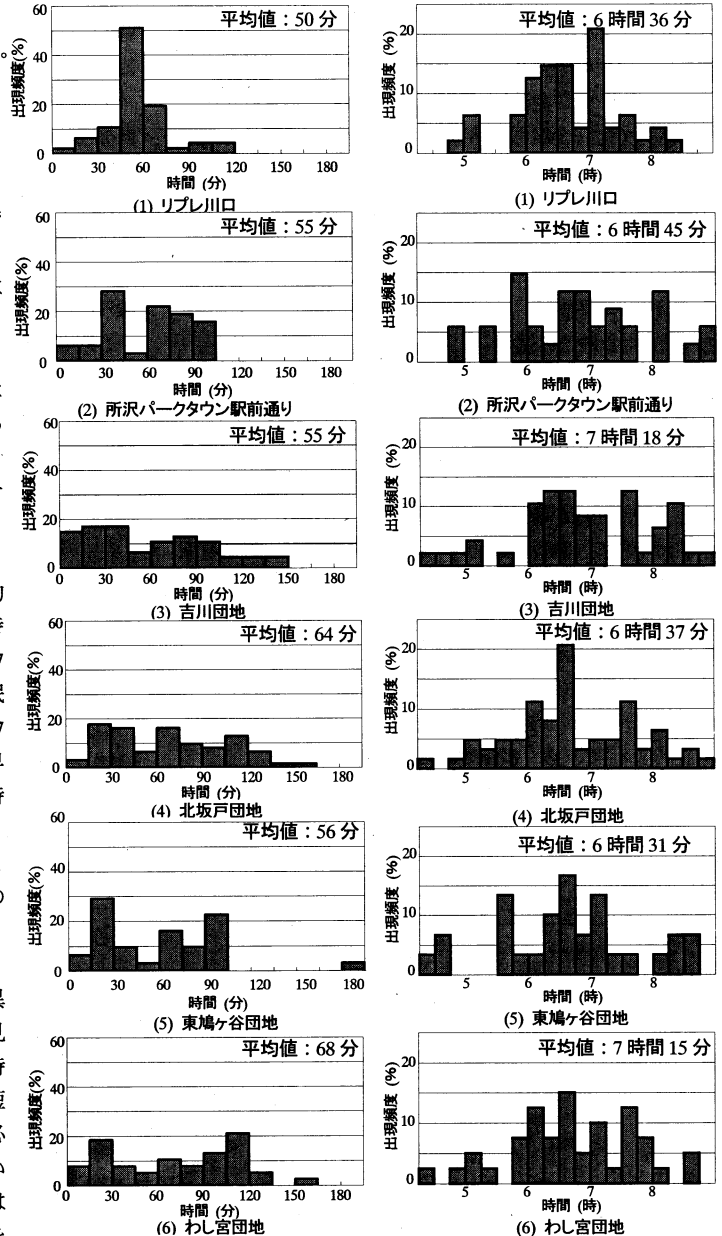


図3 各団地における朝の通勤時間別の通勤者数の割合

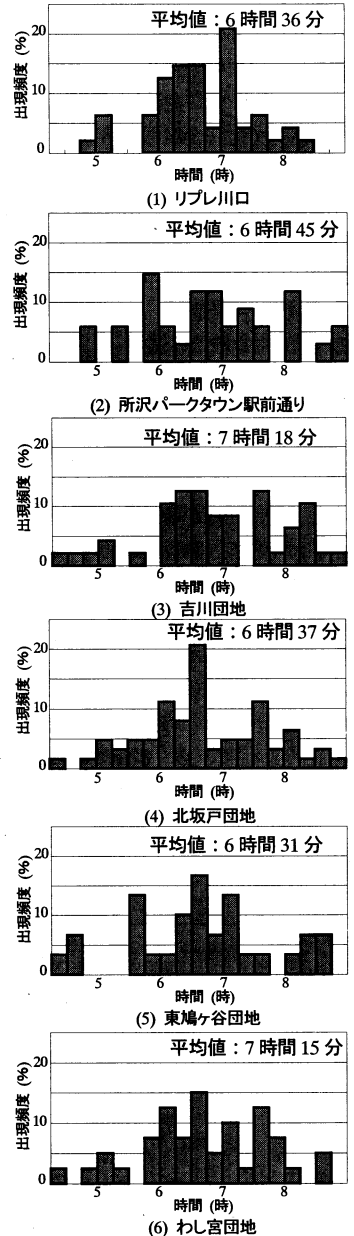


図4 各団地における睡眠時間別の通勤者数の割合

*1 芝浦工業大学大学院修士課程

*2 芝浦工業大学教授 工博

*3 大京管理 (当時芝浦工業大学学生)

Graduate School, Shibaura Institute of Technology

Prof., Shibaura Institute of Technology, Dr. Eng.

Daikyo Kanri